

TSUDOI

スタンダードプラン 週次レポート

TSUDOIはブロックチェーンと仮想通貨に特化した情報配信サービスです。

本レポートコンテンツ

◆TOP銘柄分析ガイド

今週の急上昇銘柄分析、上昇理由と将来予測

◆狙い目：中堅銘柄発掘ガイド

世界トレンド銘柄の分析

◆大穴：新規銘柄発掘ガイド

CMC新規リスト銘柄分析

◆調査銘柄 早見表

TOP	 Hyperliquid	 Cronos	 Ethena
中堅	 Pancake Swap	 Compound	 Livepeer
新規			

このレポートはTSUDOIの有料サービス、スタンダードプランの加入者専用の情報です。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。

レポートの読み方については、一覧に含まれる [「必見！成功へ導く3つの仮想通貨投資術」](#) をご覧ください。



とは

TSUDOIリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。



週次トークン価格高騰 TOP銘柄

トップ銘柄 分析ガイド 6/6

本分析ガイドは、Coinmarketcap（CMC）サイトにて、7日間を通してトークン価格が最も高騰もしくは下落したTOP銘柄を調査し情報を提供するものですが、今週は、中堅銘柄同様、検索トレンドを中心に話題となっている銘柄を週次でまとめて分析となっています。この分析から、市場で何が起こったのか、どの銘柄が注目されているのかを把握することができます。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリ	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#11	 Hyperliquid	Layer1	¥1,673,894,491,333	¥5,012.73	26.95倍 (ETH比)	▲0.8%
#33	 Cronos	CEX	¥434,771,553,532	¥14.51	31.09倍 (BNB比)	▲3.34%
#47	 Ethena	Stablecoin Protocol	¥272,141,141,511	¥44.70	—	▼20.01%

TOP銘柄チャート

上記画像は、Coinmarketcap（CMC）で記載されている7日間の価格推移を表示したチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、**-2.72%**となっております。





参照元：Coinmarketcap

銘柄の価格高騰要因(考察)



とは

TSUDOIRリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

Hyperliquid：HYPE

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。



注目ポイント：主要CEX上場で流動性急拡大、DEX市場を牽引

6/5 Coinbaseの無期限先物上場に加え、KuCoinとBinance USへの上場が相次ぎ、取引のアクセシビリティが大幅に向上した。さらに、10億ドル規模の清算取引を問題なく処理し、プラットフォームの技術的信頼性が実証されたことから、機関投資家の関心が高まったことで、信託商品の組成を経て将来的にETF申請へ発展する展望も期待が高まる。一方、直近の急騰後は短期筋の利確が入りやすく、TVL 伸びの鈍化や 未決済建玉 (OI) の偏りが出た際には強い反落もあり得ることは注意が必要。

Cronos : CRO

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：米ETF申請とzkEVM強化で投資家注目高まる

5/30 Canary Capitalが **SECへCRO現物ETFを申請**し、Crypto.comがカストディを担当するなど、**機関投資家からの資金流入期待が急速に高まった**。また、zkEVMのアップグレードによりEVM互換性やLayerZero統合によるクロスチェーン性能が改善され、基盤技術の魅力も向上。オンチェーンでは取引所からのCRO供給が減少して蓄積傾向が明らかとなり、ETF承認期待を軸に強気トレンドの継続が期待される。一方、zkEVMの成果やマクロ経済環境次第では一時的な調整リスクもあるため、慎重な判断が必要となる。

Ethena : ENA

本銘柄は、直近3カ月で2度目の選出となります。



注目ポイント：直近アンロックもUSDe拡大と提携で需要底堅い

6/5 **約2.13億ENA（約8,700万ドル相当）のアンロック**を迎えたが、同時期にプロトコルの成長を示す材料が多数報告された。USDeという安定した価値を持つステーブルコインの発行量が直近2週間で5億ドル増え、全体で52.2億ドルになった。裏付けとなる資産の比率は約102%と十分な水準で、緊急時に備えた準備金も約6,100万ドルあり、安全性を維持している。また、**USDeを大手の金融プラットフォームであるAaveに貸し出すことが承認**された。さらに、Telegramを運営するTON財団と提携して、9億人ものTelegramユーザーに向けてtsUSDeの提供を始めるなど、実際の利用者を増やす取り組みも進んでいる。こうした利用拡大が進んでいるため、投資家がトークン売却を行った場合でも、その影響は限定的になる可能性があると期待されている。また、**Coinbaseへの上場候補として発表されたことも追い風**となっている。

CMCサイト内 検索トレンド 狙い目：中堅銘柄

狙い目：中堅銘柄 発掘ガイド 6/6

このガイドでは、将来的に市場をリードする可能性を秘めた中堅銘柄を見つけるために、下記分析手法を採用しています。Coinmarketcap (CMC) における過去7日間の検索トレンドや訪問者数を分析し、注目を集めている中堅銘柄に関する情報を提供することです。

検索トレンド3銘柄

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	上昇率 7days
#84	 Pancake Swap	DEX	¥114,229,395,225	¥355.13	4.96倍 (UNI比)	▼10.47%
#134	 Compound	Lending	¥56,623,492,408	¥6,233.98	10.07倍 (AAVE比)	▲0.54%
#144	 Livepeer	AI	¥49,932,140,441	¥1,211.90	5.61倍 (RENDER比)	▲50.77%

狙い目：中堅銘柄チャート

以下の画像は、CMCでの7日間の価格推移のチャートとなります。基軸通貨であるBTC価格は、直近7日間で、**-2.72%**となっております。





参照元：Coinmarketcap

検索トレンド中堅銘柄 注目要因(考察)



TSUDOIRリサーチチーム内では、関連ニュースから中長期的に注目を集め、**とは** 価格高騰が期待できると予想した銘柄にGoodマークを付けています。

PancakeSwap：CAKE

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：PancakeSwapが急成長、取引高拡大と課題

ドル安に伴い投資家が再びリスク資産に関心を向ける中、分散型取引所（DEX）最大手のPancakeSwapが大きく躍進した。**5月の月間取引高は過去最高を更新**し、背景には手数料削減や流動性向上を実現した「Infinity」アップデートがある。またBinanceとの協力で実施した新規トークン販売（TGE）が注目を集め、新規ユーザーを取り込むことに成功。手数料の一部を自社トークン「CAKE」の買戻し・焼却にあてる仕組みにより、トークンの価値向上も期待されている。ただし今後は競合DEXとの競争激化や米国の規制強化が懸念材料となり、成長を継続できるか慎重な見極めが必要になるだろう。

Compound : COMP

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：再成長へ向けた土台固め

Compoundは6月に非営利Foundationを立ち上げ、900万COMPを投じて専任チームが提案実行や外部連携を高速化。レンディングv3はUnichainを加え計5チェーンで稼働し、ステーキング版ETHのweETHも担保に採用して資本効率を引き上げた。L2への資金流入と財団の機動力が奏功すれば拡大も期待できるが、差別化策が乏しければ埋没リスクが残る。過去のガバナンス攻撃を教訓に監視体制を強化し、規制耐性の高さで機関投資家を呼び込みたいところだが、保有者へ収益を還元する新モデルを示せなければ投資マネーは離れる恐れがあり、動向の見極めが必要。

Livepeer : LPT

本銘柄は、直近3カ月で1度目の選出となります。

注目ポイント：AI技術と市場注目で急成長も投機的リスクに注意

分散型動画プラットフォームのLivepeerが、韓国最大手取引所Upbitへの新規上場と、GrayscaleのAI関連ファンドへの組み入れをきっかけに短期間で急騰した。さらにAI活用の「Cascade」やAI動画処理基盤の提供を開始し、実需の拡大期待も高まっている。オンチェーンでも取引所からのトークン流出やネットワーク利用の増加が確認され、中期的な蓄積傾向も示唆された。一方、価格上昇には投機的要素も強く、短期的調整リスクや競合サービスとの激しい競争が懸念される。今後のAIプロダクト実装や機関投資家動向を慎重に見極める必要がある。

大穴：新規銘柄 発掘ガイド 6/6

このガイドでは、将来有望な「大穴銘柄」を発掘するため、CMC上で時価総額ランキング200位から500位に位置する銘柄を調査し、成長性の高い銘柄を選定する手法と、Tier1 VCが投資する銘柄の中から直近7日間で時価総額が急上昇したものを分析する手法を採用しています。大穴銘柄は、TOPや中堅銘柄の分析とは性質が異なり、時価総額が低いことから成長の幅が期待できる反面、リスクも伴うため、リスクリターンのバランスを慎重に判断する必要があります。

CMC Rank	プロジェクト	カテゴリー	時価総額	トークン価格	市場規模 ベンチマーク 比較	直近7日間の CMC推移
今週該当する銘柄はありませんでした。						

引用元：

本レポートにおけるデータおよび分析は、以下の情報源を基にしています。

- CoinMarketCap：<https://coinmarketcap.com/>
- CoinCarp：<https://www.coincarp.com/>
- Messari：<https://messari.io/>

注意事項

本レポートは、投資助言を提供するものではありません。提供される情報は、一般的な解説に限定されており、個別の投資判断に直接適用するものではありません。投資に関する最終決定とその結果について、当方は一切の責任を負いません。レポートの内容は個人的な使用のみを対象としており、商業的な利用は事前の許可が必要です。商業利用に関するお問い合わせは下記よりご連絡ください。

発行元：TSUDO I

メールアドレス：info@sigmainc.co.jp

ウェブサイト：<https://tsudo-i-platform.co.jp/>